

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2026年4月～6月期 NO. 83

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2026年4月～6月期の業況は3.0、前期比 4.7ポイントマイナスと前期を下回りました。
来期は両地域とも前期を下回る見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2026年1月～3月期	2026年4月～6月期	2026年7月～9月期予想	2026年1月～3月期	2026年4月～6月期	2026年7月～9月期予想	2026年1月～3月期	2026年4月～6月期	2026年7月～9月期予想
業況	7.7	3.0	1.7	3.1	▲ 0.9	▲ 1.3	13.0	7.6	5.1
売上額	10.5	12.2	10.4	5.3	5.6	8.4	16.7	19.9	12.8
収益	5.4	3.5	3.9	1.9	▲ 2.5	1.9	9.5	10.5	6.2
販売価格	24.2	28.1	24.5	25.0	28.7	22.7	23.3	27.4	26.5
仕入価格	38.8	49.4	45.1	41.1	55.6	49.4	36.0	42.2	40.0
在庫	▲ 1.6	▲ 2.5	▲ 2.9	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 3.6	▲ 4.7
資金繰り	▲ 1.0	▲ 2.7	14.9	▲ 1.2	▲ 4.3	10.3	▲ 0.7	▲ 0.7	20.4
人手	▲ 22.8	▲ 20.9	▲ 21.5	▲ 27.4	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 17.5	▲ 14.1	▲ 15.2
設備状況	▲ 6.2	▲ 6.9	▲ 7.9	▲ 6.9	▲ 6.5	▲ 8.3	▲ 5.2	▲ 7.3	▲ 7.3

2026年4月～6月期実績

《 卸売業、不動産業で上向く 》

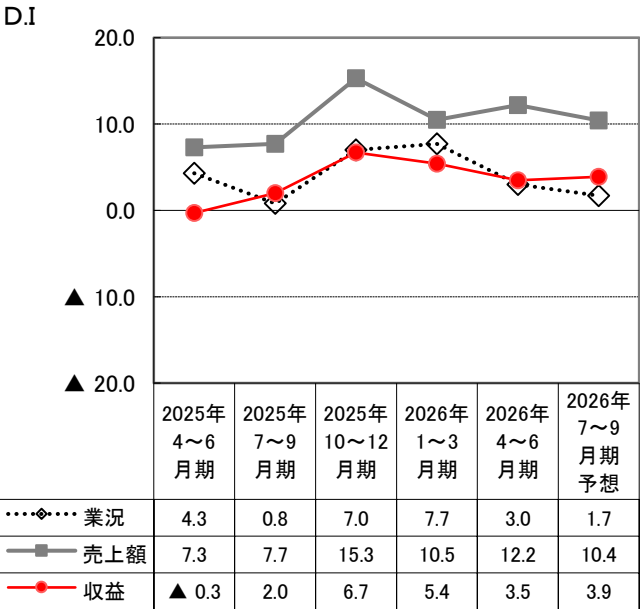
当期の全地域の全業況D.Iは3.0、前期比4.7ポイントマイナスと前期を下回りました。
全地域の業種別では、卸売業、不動産業において上向きました。

2026年7月～9月期見通し

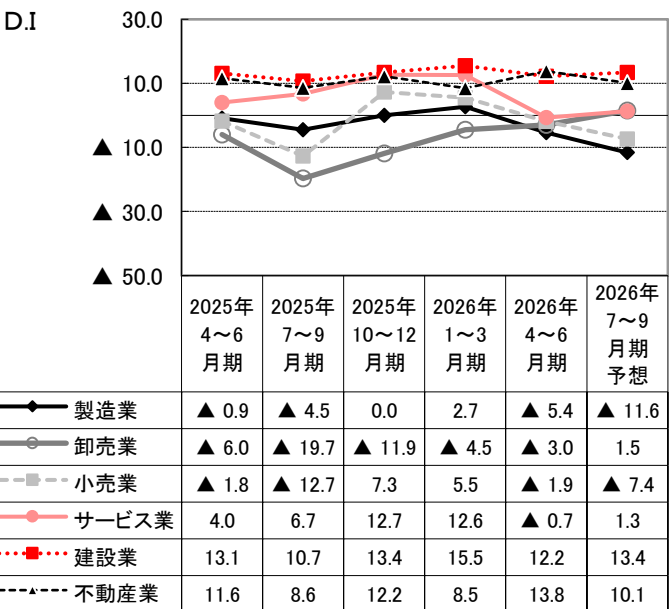
《 両地域とも前期を下回る見通し 》

来期の全地域の全業種予想業況D.Iは1.7、当期比1.3ポイントマイナスとさらに好調感が後退する見通しです。全地域の業種別では、卸売業、サービス業、建設業において上向く見通しです。
地域別では、両地域とも前期を下回る見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2026年6月上旬

3. 調査対象期間

2026年4月～6月期実績（2026年1月～3月期実績との比較）

2026年7月～9月期予想（2026年4月～6月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

	依頼数	回答数	回答率
製 造 業	112	112	100.0%
卸 売 業	67	67	100.0%
小 売 業	55	55	100.0%
サ ー ビ ス 業	151	151	100.0%
建 設 業	84	84	100.0%
不 動 産 業	131	131	100.0%
合 計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは3.0、前期比4.7ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.3）と前期を下回りました。業種別では、卸売業、不動産業において上向きました。

来期予想D.Iは1.7、当期比1.3ポイントマイナスとさらに好調感が後退する見通しです。業種別では、卸売業、サービス業、建設業において上向く見通しです。

2. 売上額

全業種における売上額D.Iは12.2、前期比1.7ポイントプラス（前年同期比+4.9）と好調さを強めました。業種別では、小売業、建設業において低迷しました。

来期予想D.Iは10.4、当期比1.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、建設業において上向く見通しです。

4. 資金繰り

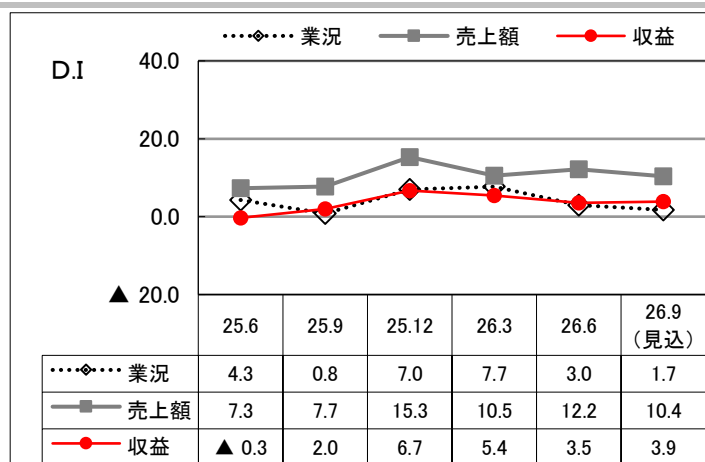
全業種における資金繰りD.Iは▲2.7、前期比1.7ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.5）と厳しさが増しました。業種別では、製造業、卸売業において和らぎました。

来期予想D.Iは14.9、当期比17.6ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、卸売業以外の業種において和らぐ見通しです。

5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは28.1、前期比3.9ポイントプラス（前年同期比+5.6）と上昇幅が拡大しました。業種別では、卸売業、不動産業において低下しました。

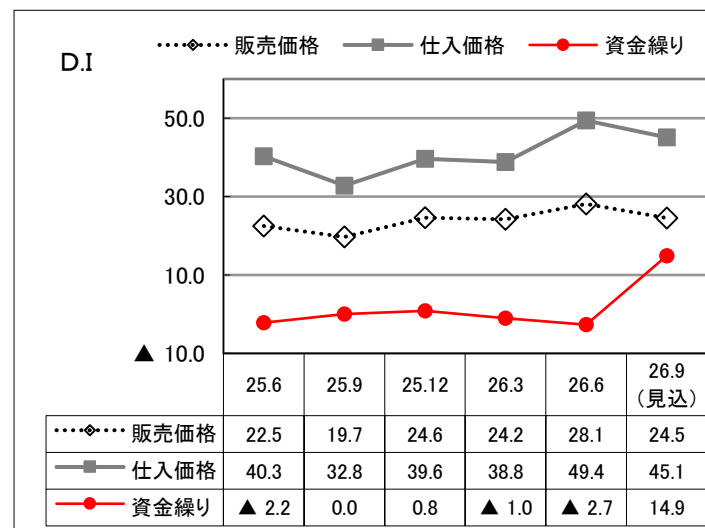
来期予想D.Iは24.5、当期比3.6ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業において上昇する見通しです。



3. 収益

全業種における収益D.Iは3.5、前期比1.9ポイントマイナス（前年同期比+3.8）と増加幅が縮小しました。業種別では、製造業、卸売業、不動産業において改善しました。

来期予想D.Iは3.9、当期比0.4ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、製造業、卸売業、不動産業において低迷する見通しです。



6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは49.4、前期比10.6ポイントプラス（前年同期比+9.1）と上昇幅が拡大しました。業種別では、卸売業、不動産業において低下しました。

来期予想D.Iは45.1、当期比4.3ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業において上昇する見通しです。

7. 在庫

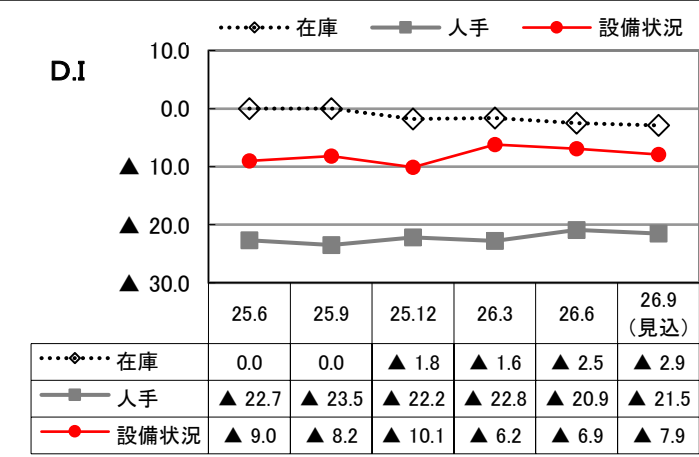
全業種における在庫D.Iは▲2.5、前期比0.9ポイントマイナス（前年同期比 ▲2.5）と不足感が強まりました。業種別では、不動産業において緩和しました。

来期予想D.Iは▲2.9、当期比0.4ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、建設業、不動産業において不足感が和らぐ見通しです。

8. 人手

全業種における人手D.Iは▲20.9、前期比1.9ポイントプラス（前年同期比+1.8）と不足感が改善しました。業種別では、製造業、小売業、建設業において不足感が和らぎました。

来期予想D.Iは▲21.5、当期比0.6ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、卸売業において不足感が和らぐ見通しです。



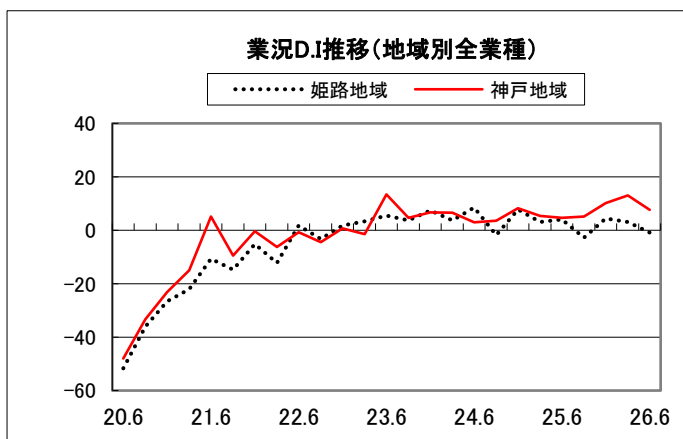
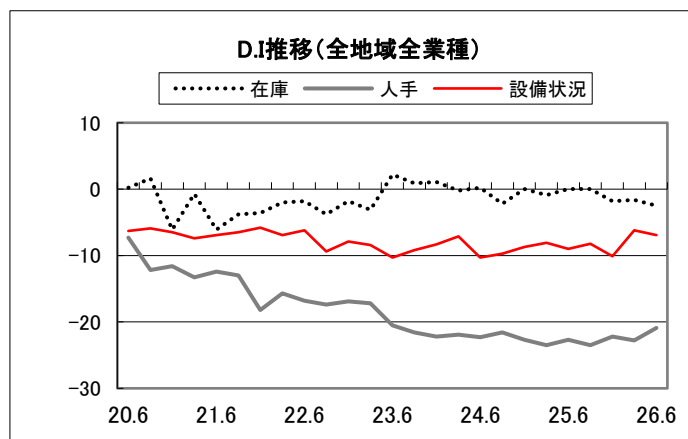
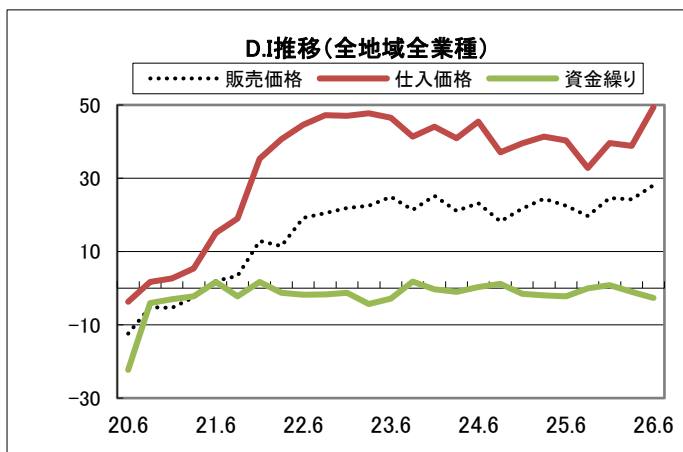
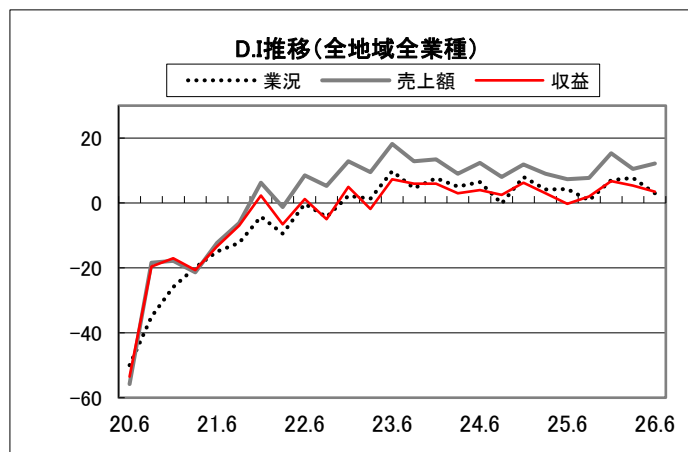
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.9、前期比0.7ポイントマイナス（前年同期比+2.1）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は29.1%、前期比▲1.1ポイントマイナス（前年同期比▲1.7）と減少しました。また業種別では、卸売業、建設業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は29.8%、当期比0.7ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



1. 業況

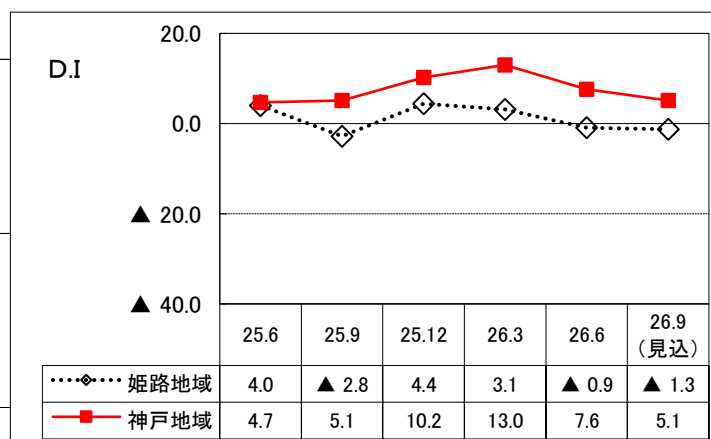
姫路地域の業況D.Iは▲0.9、前期比4.0ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.9）と厳しさを強めました。

来期予想D.Iは▲1.3、当期比0.4ポイントマイナスと低迷する見通しです。

神戸地域の業況D.Iは7.6、前期比5.4ポイントマイナス（前年同期比+2.9）と前期を下回りました。

来期予想D.Iは5.1、当期比2.5ポイントマイナスとさらに好調感が後退する見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも前期を下回りました。



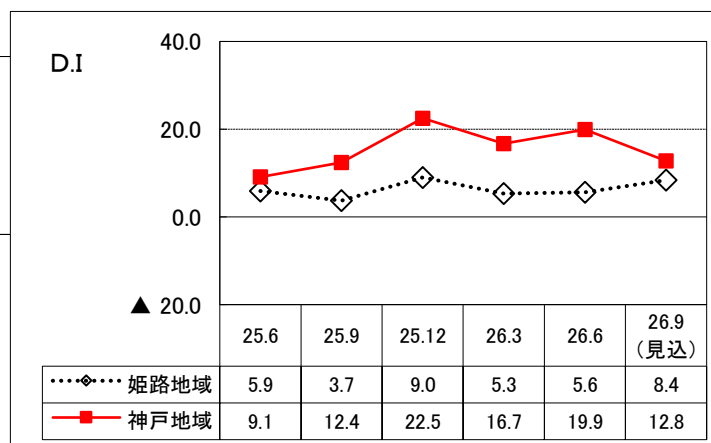
2. 売上額

姫路地域の売上額D.Iは5.6、前期比0.3ポイントプラス（前年同期比 ▲0.3）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは8.4、当期比2.8ポイントプラスとさらに堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D.Iは19.9、前期比3.2ポイントプラス（前年同期比+10.8）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは12.8、当期比7.1ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



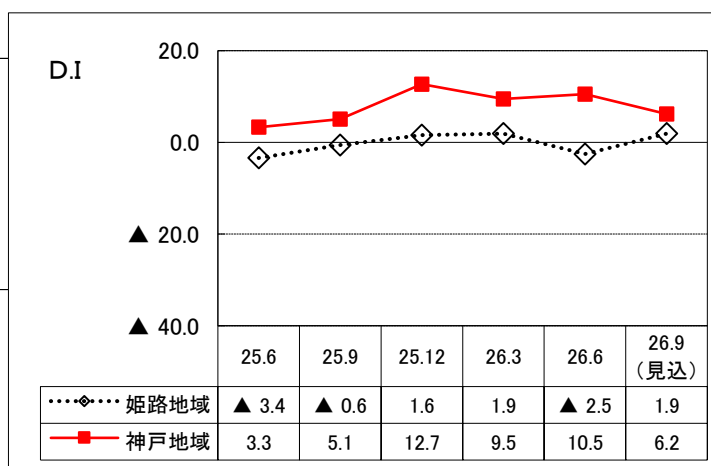
3. 収益

姫路地域の収益D.Iは▲2.5、前期比4.4ポイントマイナス（前年同期比+0.9）と水面下に落ち込みました。

来期予想D.Iは1.9、当期比4.4ポイントプラスと好転する見通しです。

神戸地域の収益D.Iは10.5、前期比1.0ポイントプラス（前年同期比+7.2）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは6.2、当期比4.3ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

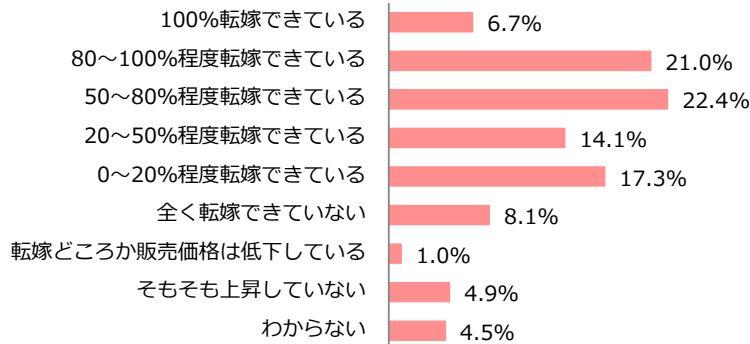


中小企業における価格転嫁について

回答により合計が100%とまらない場合があります。

問1

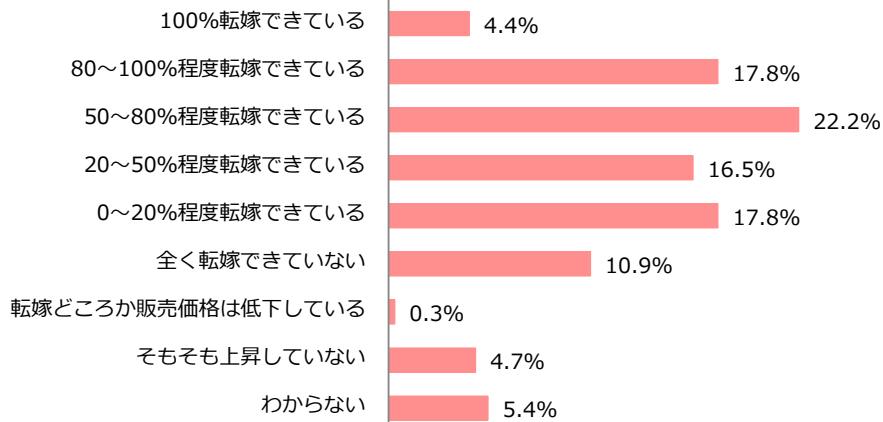
近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。



ここ数年の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できているかについて、「50～80%程度転嫁できている」が最多回答でした。

問2

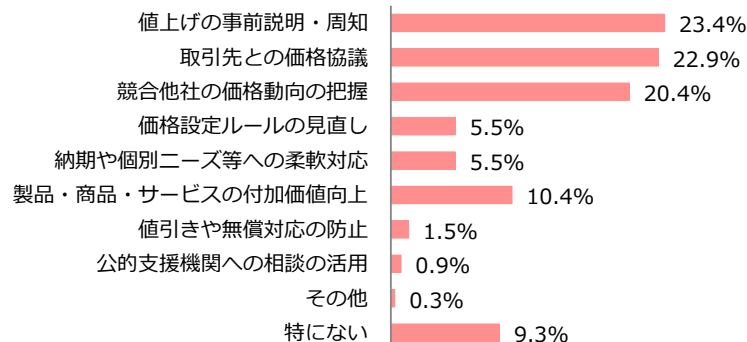
貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。



ここ数年の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できているかについて、「50～80%程度転嫁できている」が最多回答でした。

問3

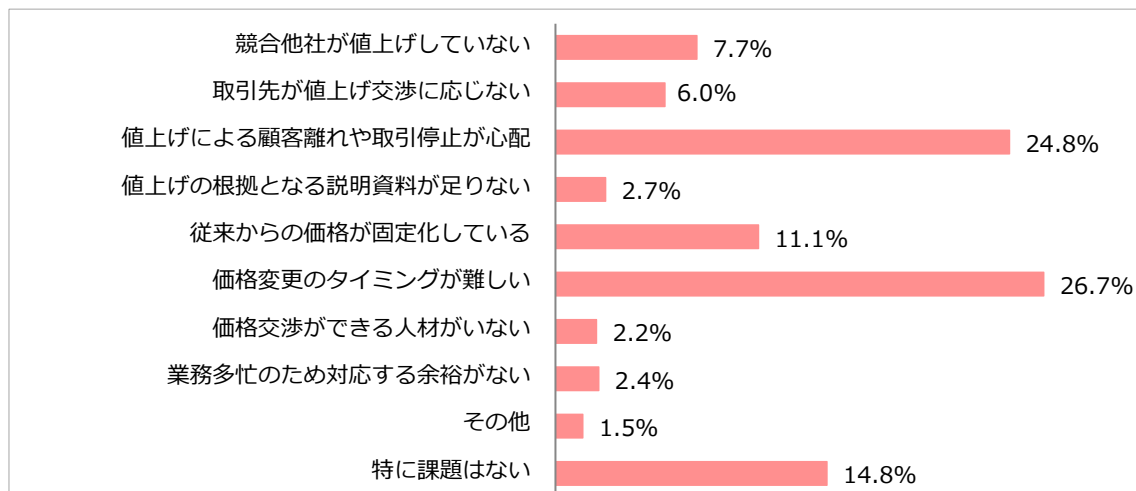
貴社が取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



取引先との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みについて、「値上げの事前説明・周知」が最多回答でした。

問4

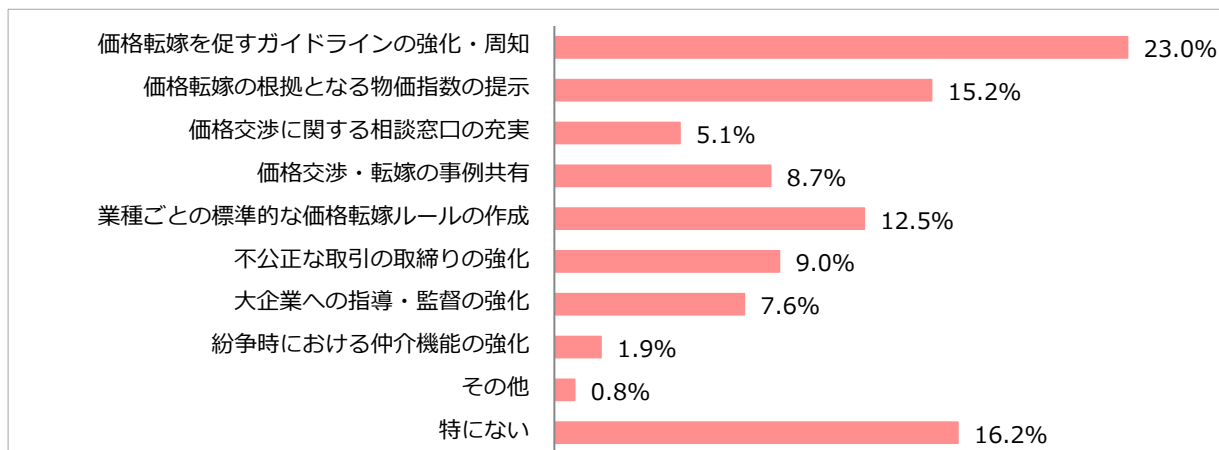
貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



価格転嫁を進めるうえでの課題について、「価格変更のタイミングが難しい」が最多回答でした。

問5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



今後、円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みについて、「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」が最多回答でした。